

シリーズ 共働事業 3年間の取り組みと事業報告

第2回 九州大学

九州大学附属図書館付設教材開発センター センター長
サイバーセキュリティセンター 准教授

岡田 義広
金子 晃介

はじめに

始まりは、平成27年7月31日に大濠公園にて行われました「福岡城・鴻臚館を活かした観光都市戦略事業」実行委員会の方々との会議でした。九州大学の学生を巻き込んだ取り組みをしたいというご要望がありました。私たちの所属しております九州大学附属図書館付設教材開発センターでは電子教材等を活用した教育の支援を行っております。その一環として、鴻臚館や福岡城の歴史を知ってもらう電子教材を開発し公開することで本事業に貢献したいと考えました。

◆ 平成27年度の事業

福岡市が所有しております鴻臚館の3次元CGモデルを活用したスマートフォンアプリの開発に取り組みました。段ボールのゴーグルにスマートフォンを入れ、ステレオ表示された鴻臚館の3次元CGモデルを見て、頭の動きに合わせて視野が変化する等の没入感が得られるアプリの開発を行いました。同時に、ウェブブラウザで体験できる鴻臚館VR (Virtual Reality) システムの開発にも取り組みました。これらの成果を「第2回市民フォーラム～歴史に親しむ講話」(平成28年1月30日開催)にて報告させていただきました。

◆ 平成28年度の事業

鴻臚館スマートフォンアプリの開発を九州大学の演習系講義として実施し、鴻臚館跡地にて学生が開発したアプリを利用した体験授業(平成28年12月17日)を実施しました。鴻臚館VRシステムは、福岡城・鴻臚館の案内標識のイラストを手掛けられている室川康男氏の水彩画に動きを付ける機能を付加し、当時の模様をより深く学習できる教材として完成させました。これらの成果を「第4回市民フォーラム～秀吉・官兵衛が描いた大坂・福岡『二都物語』」(平成29年1月28日開催)にて報告させていただきました。また、本事業の関連イベントとして実施されました「Attack the Fukuoka Castle」(平成29年3月5日)で使用したAndroidアプリの開発にも取り組みました。

◆ 平成29年度の事業

鴻臚館スマートフォンアプリと鴻臚館VRシステムを展示用に改修したものが、福岡市博物館「発見100年記念特別展 よみがえれ！鴻臚館－行き交う人々と唐物－」(平成29年9月7日～10月22日開催)にて展示・公開されました。

おわりに

本事業の成果物は、当教材開発センターのホームページにて公開しております。福岡の歴史に興味のある方々の学習資源として、また福岡市の観光集客に役立つことを期待しております。



鴻臚館スマートフォンアプリを体験



鴻臚館VRシステム



Attack the Fukuoka Castleアプリ



福岡市博物館特別展チラシと展示されたシステム